

松戸ロータリークラブ

【2010-11年度国際ロータリーテーマ】

地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities,
Bridging Continents

[第2639回例会]

会 報

No.2638

2010年7月21日 発行

●四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

●THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?



地域を育み、大陸をつなぐ

本日のプログラム

2010年7月21日(水)

卓 話
「各委員長挨拶」

次回のプログラム

2010年7月28日(水)

卓 話
「各委員長挨拶」

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F
TEL: 047-366-2266
FAX: 047-361-2255
URL: matsudo-rc.com
E-mail: info@matsudo-rc.com

- 会 長 伊原 清良
- 会長エクト 常盤 映彦
- 副 会 長 加藤 栄
- 幹 事 松田 茂一
- 会 計 加瀬 仁
- 会報委員 松本 幸夫 申 澈権 太田原慎一
- 山田 達郎 澤田 正宏 土肥伸一郎
- 加瀬 仁 車田 善教 浅井 利明
- 三国 大吾

「幹事、4大奉仕委員長 挨拶」



松田茂一 幹事

幹事としての一年間の方針

会長と常に連絡を取り情報の共有を図り、クラブが効果的に機能するよう会長をサポートする。

RIや地区からの伝達事項を理事会や会員に速やかに伝達する、また報告事項を確実に伝える。

各部門委員長とチームワークをとり、楽しいクラブ運営が出来るよう努める。

以上を心掛けて一年間やってゆきたいと思います。



クラブ奉仕委員会

加藤 栄 委員長

本年度、伊原会長の下でクラブ奉仕委員会委員長を仰せつかりました加藤栄です。副委員長に織田信幸会員、委員

に各クラブ奉仕関連委員会委員長による委員会構成になっています。確か自分にとって二度目の役目と記憶していますが、専ら関連委員会の意思の疎通を図り会長の描いている例会の運営に少しでも寄与できるよう活動してゆきたいと考えています。おそらく親睦委員会・出席委員会・会報雑誌委員会・広報委員会・プログラム委員会等の活動がうまく連携されて機能しないと例会自体が興味のないものになってしまうと想像できますし、クラブメンバーの例会に対する参加意識も低下してしまう可能性があるのでクラブ運営上関連委員会が連携して活発に機能するよう努めていく所存です。

また、原則として奇数月の第二例会日に行われるクラブ協議会の運営並びに進行も役目となっていますが、各委員長がクラブの動向をより把握で

きるよう努めていく所存です。

については、伊原会長や松田幹事とも連携を密にして少しでも会長のクラブ運営の方針に寄与できるように一年間頑張っていくつもりですので会員の皆様の更なるご指導ご鞭撻をお願いいたします。

一年間よろしくをお願いいたします。



職業奉仕委員会

土屋亮平 委員長

ロータリーの5大奉仕の内、職業奉仕を除く4つの委員会(クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕)はクラブの行う奉仕と会員個人が行う奉仕が同一である為に分かり安いのですが、職業奉仕だけは特別であります。

クラブの職業奉仕委員会が行う任務と会員個人が実践する職業奉仕を混同して考えると分かり難くなってしまいます。会員が行う職業奉仕とは、自分の職業に対し何か奉仕するものではありません。会員各自が自分の職業の質を高めること、道徳心の高揚すること、これを自分の職場に反映させることが基本であります。

より端的に表現すれば、自分の職業は自分の糧をえる手段ではありますが、必ず対象(お客様)が無ければ成り立ちません。即ち、自己の職業の質を高める、道徳心の高揚を諮ることは、お客様に対して誠実であり、勤勉であり、忠実であることをロータリー的に言えば、奉仕の精神を如何に発揮させることで在ります。各ロータリアンが事業に自信と誇りを持って臨めば、その結果は当然事業は繁栄が約束されます。

ガイ・ガンディカー元RI会長も「奉仕の実践を行わんとする者は、先ず自分が受益者でなければならぬ」と述べて居られます。即ち、各自の職業を繁栄させる最良の秘訣は、職業奉仕の実践にあります。尚、この精神を自分の職場は勿論、同業者、異業者まで拡大発展させることで、あくまでも個人が主体であります。

では職業奉仕委員会とは申しますと、職業奉仕委員会が会員個々人の職業の質を高めることや道徳心の高揚させることなど不可能であります。

困って、クラブの職業奉仕委員会の任務は、各々の会員の職業奉仕の実績の点検を諮り、これを公表するとか、表彰することでありませう。

又間接的ではありますが会員に対して、個々の会員に自己研鑽を啓蒙したり、勉強会を開催して一層会員の質の向上を諮ることが任務であります。そこで、本年度は

- (1) 機会ある毎に、職業奉仕委員による3分間情報を提供致します。
- (2) 職業奉仕月間に、職業奉仕委員の職業奉仕の実践例を紹介致します。
- (3) 地区の職業奉仕研修会を企画致します。



社会奉仕委員会

杉浦 裕 委員長

当クラブは、創立以来、青少年育成ということを理念に掲げており、2007年の創立50周年記念式典においても、わずかながらではありますが、青少年育成事業をしてまいりました。

本年度も、この理念を念頭に置いて、「新世代のための委員会」川並委員長、「インターアクト委員会」下田委員長、「松戸ロータリークラブ奨学基金委員会」湯本委員長、「環境委員会」小林委員長とともに、1年間、社会奉仕活動に取り組んでまいります。

また、会員及び会員企業に対し、献血に積極的に参加するよう呼びかけるとともに、警察署等の公共団体への慰労を積極的に推進してまいります。



国際奉仕委員会

小川 一 委員長

みなさんこんにちは、今年度国際奉仕委員会委員長を仰せつかりました、小川一です。四大奉仕委員会の一つという重責に、今からプレッシャーを感じております。

国際奉仕という言葉から私個人的には、海外に行ってボランティア活動を行う、若しくは海外で活動しているNPO団体等に寄付や物資等を送ることがまず思い浮かびます。

松戸ロータリー・クラブ細則には、「この委員会は、本クラブの会員が、国際奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。」とあります。

RIの手続き要覧には、「ロータリアンの間に、また、一般の人々の間に理解と善意を育むことが、ロータリーの国際奉仕が果たすべき仕事である。」と第7章国際奉仕の冒頭に書かれています。

いままでは、自分が動く事ばかり考えていましたが、このようなロータリーの精神に則った「国際奉仕活動とは何か？」をいつも自分に問いかけながら活動をして参りたいと思っています。

委員会の副委員長には鎌倉会員、委員には森田力会員、森田雅久会員、林希一会員と、とても頼りになりそして、ご指導もいただける方々が揃っておりますので安心して活動して参ります。

部門の委員会には、ロータリー財団委員会に小串委員長、米山奨学委員会に島村委員長、青少年交換委員会に小林登委員長と、こちらもベテランの委員長揃いなので、とても安心しております。一年間よろしくお願い致します。



クラブ研修委員会

森田雅久 委員長

本年度、伊原会長が新設の委員会として土屋委員長の職業奉仕委員会の配下にクラブ研修委員会が編成されました。メンバー構成は入会5年以下の方、全員を中心としています。1年間を通してロータリーとは何か？職業奉仕とは何か？を学んでまいります。

つきましては、職業奉仕委員会とクラブ研修委員会のメンバーを対象に、来週7月21日(水)の例会終了後にユニティビル3Fをお借りしましてインフォーマルミーティング職業奉仕研修会を開催します。対象の方にはすでにご案内をさせていただいておりますが、ご出席をお願いします。

会 長 挨 拶



伊原清良 会長

本日は松戸東ロータリークラブの得居仁ガバナー補佐、ようこそお越し下さいました。さて7日の理事会におきまして中山前会長より、山田

勝重元会員を名誉会員に推挙する提案があり、全会一致で可決いたしました。山田会員は昭和46年入会以来、インターアクト委員会の初代委員長や第12分区・分区代理など務められました。

8日に開催された十日会には、会長になりましたので、景品として千葉コシヒカリの無洗米5Kgを寄付しました。コンペ順位でめくられない4位とブービー前の人に差し上げると申し上げたところ、私がブービー前になってしまいましたので親睦旅行の伊香保で痛めつけた奥村会員に米5Kgを手渡しました。十日会は、楽しい親睦ゴルフ会ですので、どうぞ気軽にご参加下さい。

7月10日より、個人的な台湾旅行をしてきました。土屋夫妻、中山夫妻、湯本夫妻他、総勢9名であります。台湾で最も尊敬されている日本人の一人に烏山頭ダムを設計建設した、八田興一技師がいました。明治生まれの八田興一は石川県出身で、東京帝国大学で学びました。日清戦争に勝利した後、日本国は統治下になった台湾における米の増産をめざしました。それまで干ばつや洪水など、全くのお天気まかせだった農業から、平野部の治水を考え、日本から多額の予算を得て、この事業に寝食を忘れ打ち込みました。

烏山頭ダム脇にある、八田興一技師の銅像はゆったりと座り、満々と湛えた湖の水を眺めています。その後戦争が激しくなり、八田興一の銅像が鉄砲の弾丸になりそうになった時、台湾の農民たちが日本人である八田興一の銅像を隠して守ったといわれています。一見土手にしか見えないダムや湖の美しい空間をユネスコの世界遺産に登録しようとする地元のロータリアンたちがいます。松戸クラブには40年来からの杉浦さん、小泉さんに

は個人的にも台湾支援のDNAが熱く流れていると思われまます。

本日は、幹事と四大奉仕委員長の挨拶です。松戸ロータリークラブには、自走力（自ら走る能力・自ら考える）ならびに 独自性や創造力があると思っています。現実に会長になってからも、音楽支援について小倉純夫会員から、何をもって市立松戸高校なのか、小・中学校への支援はどうなのか。小林孝数会員からは活動計画書へのご指摘を頂いています。

クラブ奉仕委員長の加藤栄会員は、最近、関東商工連合会からベストアクション表彰を受けています。一大集客イベントとして定着している「松戸宿坂川献灯まつり」の実行委員長として、地域経済の振興と社会貢献が評価されました。職業奉仕委員長の土屋亮平会員はパストカバナーとして大活躍されておりまますから、本日は説明を省きます。社会奉仕委員長の杉浦裕会員は台湾旅行中の7月10日に地区の社会奉仕委員会に参加されております。私は杉浦会長の時の幹事でした。杉浦ガバナー補佐と補佐幹事。50周年実行委員長と副委員長。私が会長の時には、杉浦会員にはお手伝いを願うべく、絶対に外せない人なのであります。

国際奉仕委員長の小川一会員はアフリカで学校支援の活動をされており、地区の個人表彰で「優秀ロータリアン」を受けられています。松戸ロータリークラブとしても大変に名誉なことでした。そこで今回、国際奉仕委員長に抜擢されたのだらうと思われた方は認識が大きく違います。

私はNHKの世界遺産番組で屋久島の縄文杉を観た時、感動しました。是非いつか行こうと決意しました。すみれのメンバーで昭和18年生まれの藤城氏と昭和29年生まれの高野氏が行くこととなりました。最終的に旅行会社の入木田君と4人で行くことに腹を決めていたところ、加藤会員と入会直後だった小川会員と杉野氏が合流。自然発生的に藤城氏が隊長。私が副隊長。地元焼酎の三岳がうまい。つまみは飛び魚のひもの。登山の当日、伊原副隊長、偉そうに「お前ら、弁当忘れてたらシャレにならないぞ。わかったか。」死にそんな思いで登り続けて縄文杉に出会える直前、お昼になった。伊原副隊長の弁当がない。リュクサックを

限なく捜してもない。副隊長としては体重を維持しなければならない。腹へって発狂直前。そこに命の恩人が現れました。最年少、小川会員である。「どうぞ僕の弁当、食べて下さい。」シャレになってしまった。弁当を食べながら、いつか私がロータリークラブの会長になれたら国際奉仕の委員長には小川一会員をおいていないと固く固く決意したのでした。

「食い物の恨みは恐ろしい。」の反対で「食い物の恩人」はロータリー人事に深く影響するという、毎度、馬鹿馬鹿しいお話でした。おあと後がよろしいようで。

ご 挨拶



ガバナー補佐
得居 仁 様

2010～11年度第12分区ガバナー補佐を務めることになりました松戸東ロータリークラブ得居仁です。1年間どうぞ宜しくご協力のほどお願いいたします。

織田吉郎ガバナーは、これまでに6回開催されましたガバナー補佐予定者会議を通じて、ガバナー補佐の果たすべき役割、任務について具体的に、しかも明確に指示しておられますので、その指示に従って1年間務めてまいります。

織田ガバナーは、各クラブに対して、ガバナー公式訪問の2週間前までにガバナー補佐公式訪問を行なうことを要請され、またこのガバナー補佐公式訪問結果報告を、全クラブ単独で行われることとなったガバナー公式訪問の資料の一つとされたいとしておられます。

当クラブでは8月4日にガバナー補佐公式訪問が開催されます。初めての試みで不安がありますが、織田ガバナーの意図に沿った、8月18日に予定されております当クラブガバナー公式訪問に役立つことができる報告をいたしたく、皆様のご協力を是非ともお願いいたします。

今年度は分区単位でロータリー情報研究が開催されます。主催はガバナー補佐を出しております松戸東ロータリークラブで、本年10月15日(金)午後2時から松戸商工会議所において、地区クラブ研

修委員会から委員を迎えて、「私たちは何故週一度ロータリーに集うのか」をテーマに、織田ガバナーが強く希望されている双方向討論の形式により行われます。

織田ガバナーは、会歴を問わないで、最低でも70%の会員の参加を呼びかけておられます。

また、例年のとおりのIMを来年2月18日(金)に開催予定であります。場所やテーマは未定ですが、ロータリー情報研究会と同様に、70%を超える多数の会員の参加をお願いいたしたいと存じます。

最後に、織田ガバナーは上意下達ではない、ボトムアップによる地区運営を目指すとされておられます。皆様からの地区運営についての忌憚のない意見を織田ガバナーにお伝えするのも今年度ガバナー補佐の役割であると考えております。どうか気軽にご意見をお聞かせいただきたく、併せて、お願いして、ご挨拶といたします。

幹 事 報 告



松田茂一 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内

ガバナー補佐公式訪問、ガバナー公式訪問が決定しました。

8月4日(水) ガバナー補佐公式訪問。

8月18日(水) ガバナー公式訪問。

上記2日間クラブ協議会が開催されますので関係者の会員はよろしくお祈りいたします。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内

7月10日(土) 2010～2011年度国際ロータリー第2790地区社会奉仕委員会セミナーがフロラ西船で開催されました。松戸RCより杉浦裕社会奉仕委員長、小林孝数環境委員長、松田茂一幹事の3名が参加しました。

3. 他クラブ会報・その他

会報が柏西RC、流山RC、活動計画書が柏西RC、沼南RCより届いています。

4. 例会変更の連絡

特にございません

5. その他報告

特にございません

お 祝 い



【入会】富田 善治君
昭和52年7月13日（32年）



【入会】草野 進君
平成6年7月6日（15年）



【誕生】太田原慎一君 27日



例 会 報 告

【例会写真】



点鐘 伊原会長



奥村会員

【出席報告】

会員50名	義務会員41名	免除会員 9名
出席41名	義務会員33名	免除会員 8名
仮欠 9名	義務会員 8名	免除会員 1名

【欠席者】

常盤 映彦君	島村 善行君	川並 芳純君
平松 徹君	中田智次郎君	土肥伸一郎君
加瀬 仁君	車田 善教君	

【M U】

草野 進君	松戸北 R C	7月13日
-------	---------	-------

本日出席率 83.67%

【ゲスト】

得居 仁様 ガバナー補佐

ニ コ ニ コ B O X

土屋亮平君 / 得居ガバナー補佐の御訪問を頂きまして。

富田善治君 / かなりの年数お世話になっていますが、もうしばらく在籍させていただきます。

草野 進君 / 「入会記念」をありがとうございました。今年は皆勤賞をと頑張りますのでよろしくお願い致します。

伊原清良君 / 7月10日(土)の地区社会奉仕委員会に出席できず申し訳ありませんでした。土屋さん、中山さん、湯本さんありがとうございました。得居ガバナー補佐、ご苦労さまでございます。

加藤 栄君 / 商工会議所のベストアクション賞を受賞致しました。これも松戸宿坂川献灯まつりのお陰で、皆様方のご協賛のおかげです。ありがとうございました。

太田原慎一君 / 47歳の誕生日を戴きありがとうございます。2週間カナダ出張で出掛けていた為例会を欠席してしまいましたが、本年度もロータリー活動頑張ろうと思いますので、宜しくお願いします。

松本幸夫君 / 先週の十日会で3年ぶりに優勝させていただきました。これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

ニコニコBOX	当日 ¥55,000	累計 ¥130,000
---------	------------	-------------

財 団BOX	当日 ¥ 5,022	累計 ¥ 9,608
--------	------------	------------

文責 / 澤田